

## 令和2年度 議会改革の目標に対する評価

目標	取組目標	評価	評価理由
審議の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ より良い議案審議が行なわれるよう、新たな議会運営を検討し実行する。</li> <li>・ 本会議中の質疑数を対前年度 150%以上に増やす。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議員間の勉強会において疑問点について活発に議論し、議案の内容確認では多くの質問が出た。</li> <li>・ 論点整理の前に自由討議の時間を設け活発な意見交換を行った。</li> <li>・ 質疑数は32%増加したが、取組目標には少し足りなかった。</li> <li>・ 議会運営委員会にて、審議方法や一般質問の進め方の改善を検討している。</li> </ul>
町民意見の反映	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町民意見や議員間の情報共有化のために議員懇談会を開催し、町民の意見を議会に反映させる。</li> </ul>	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍において、議会報告会の中止を決定し、議会活動としての町民意見の収集が困難であったため、議会活動に反映できなかった。</li> <li>・ 懇談会が開かれることが少なく、開催時においても町民意見の紹介が少なかった。</li> </ul>
ICT活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会のICT活用を推進するため、新たなシステムを調査し、試験運用する。</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グーグルの機能を議会活動で活用するために、情報伝達手段をGメールに統一し、情報の共有化を図った。しかし、他の機能活用には至らなかった。</li> </ul>

※ 令和2年度末に議員13人それぞれの評価から協議により議会としての評価を決定し、公表する。  
 評価基準は『設定以上にできた⇒◎、設定どおりにできた⇒○、設定には足りなかった⇒△、出来なかった⇒×』